

静岡市のココが聞きたい

個人質問



平成31年3月5日、6日の2日間、8人の議員が個人質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。

中央新幹線のトンネル等建設

質問者 松谷 清 (緑の党)

中央新幹線の本体トンネル、導水路トンネルなどの建設ルートがJR東海から示されたが、市が管理する河川に対してどのように対処していくのか。

答弁 JR東海が示した建設ルートには、その上を横断する形で県が河川法に基づき管理している西俣川、奥西河内川や、市が静岡市法定外公共物管理条例に基づき管理している東俣川、小西沢川、悪沢など数多くの河川が存在している。

今後、JR東海との協議の場で建設位置を明確にした上で、中央新幹線建設にかかる申請があった際には、条例で規定する範囲内で審査・検討を行い、河川等法定外公共物の管理上支障が生ずることのないよう対処する。

クラウドファンディングの活用

質問者 安竹 信男 (創生静岡)

中山間地域の住民がクラウドファンディング活用のノウハウを得ることで、より効果的な地域活性化事業の展開が可能になると考えるが、市はどのような支援策を考えているか。

答弁 中山間地域の取組にクラウドファンディングの手法を取り入れることで、多くの人の事業参加が可能になり、また、地域外の人々のオクシズへの関わりが強まり、イベント参画や起業など外部活力の展開が期待される。

クラウドファンディングを成功させるためには、実施者の思いや理念へ共感する人をいかに集めるかが重要であり、支援したいと思ってもらえるようプロジェクトをより充実させ、魅力的に見せるノウハウが求められる。

活用を考えている人達に対してノウハウを持った専門家を派遣するなど、プロジェクトの魅力を高める支援を今後検討していく。

清水庁舎移転計画

質問者 内田 隆典 (共産党)

清水庁舎の移転計画について、基本構想からの見直しも含め再検討する考えはないか。

答弁 本市では、第3次静岡市総合計画を踏まえ、静岡市都市計画マスタープラン等の各種計画において、まちの拠点エリアへ必要な都市機能を集積し、様々なサービスを充実させるまちづくりを推進している。

この考えのもと、新庁舎は清水都心地区の江尻エリアに建設し、清水区のまちづくりの拠点として、賑わいの創出と地域経済活性化の起爆剤とするとともに、人々の命を守る防災の拠点として、災害に強い強靱なまちづくりの第一歩としていくこととした。

また、新庁舎建設にかかる基本構想・基本計画は、パブリックコメントなどの実施や検討委員会での議論を経て策定しており、再度検討する必要はないと考えている。

語句説明

クラウドファンディング

民間事業者などが行う事業に対し、インターネットなどを利用して、不特定多数の人から資金を集める仕組み。自己資金の少ない民間事業者などが、新しい事業の立ち上げや商品の開発に取り組む際の資金調達に有効な手法の一つ。

語句説明

法定外公共物

道路、河川、湖沼、海浜等の公共物のうち、道路法、河川法等の適用を受けないもの。一般には、里道(赤道)や水路などがこれに当たる。

生涯学習交流館の利用方法の見直し

質問者 望月 賢一郎 (共産党)

平成31年2月定例会で清水区の生涯学習施設の利用の見直しに係る条例改正案の提出を見送った理由は何か。また今後、条例改正案の検討期間をどの程度設けるか。

答弁 施設利用の見直しに当たり、平成30年8月から11月にかけて実施した説明会や12月中旬からのパブリックコメントなどを通じ、「見直し案における利用申込み時期では、計画的な学習活動に支障がある」などの様々な意見をいただいた。

これらの意見を受け、生涯学習の推進のために、より利用しやすい仕組みを考える必要があると判断し、その検討には時間が必要であることから、条例改正を見送った。

現在の見直し案を基に、より利用しやすい仕組みについて検討しており、検討期間については現時点では未定である。

イエローチョーク作戦

質問者 山梨 渉 (公明党)

犬の糞に関する苦情件数及びその対策はどうなっているか。また、イエローチョーク作戦の導入についてどのように考えるか。

答弁 29年度の犬の糞に関する苦情件数は89件であった。本市では、放置される犬の糞への対策に悩む個人や自治会・町内会からの相談を受け、対策に関する情報提供や警告に用いるプレートやチラシの配布、市ホームページによる注意喚起等を行っている。

イエローチョーク作戦は、放置される犬の糞への対策として効果が期待される新しい取組である。発祥の地である京都府宇治市では地域住民が主体的に取り組み、市はその活動を支援し、少ない経費で大きな効果を上げている実績がある。本市でも先行事例の手法等を調査し、積極的に情報提供を行うことで、対策に取り組む皆さんを支援していく。

語句説明

イエローチョーク作戦

チョークを使って放置された糞を強調することで飼い主に警告し、マナー向上を促す取組。手順としては、路上に放置された糞を黄色いチョークで囲み、発見日時を書き込む。その後、時間を空けて再度確認し、糞がまだあるときは確認した日時、ないときは確認日時とともに「なし」と書き込むというもの。

語句説明

加配教員

習熟度に応じた少人数指導等の実施、いじめや不登校等への対応など、学校が個々に抱える問題解決のために学級担任等の基本的な教職員定数とは別に特例的に措置しているもの。

おくやみ窓口の設置

質問者 加藤 博男 (公明党)

ご遺族が窓口で行う手続きの負担軽減への取組が全国で少しずつ始まっているが、本市の現状と今後の取組はどのようなか。

答弁 現在、各区役所の窓口では、ご家族が亡くなられた際に必要となる手続きの種類、窓口場所、方法などをまとめた一覧表をご遺族に配付し案内している。

しかし、一度に多くの手続きを要するご遺族の負担は大きく、本市でも市民の皆さんに寄り添ったサービスへの具体的な対応が必要と考え、若手職員を中心に検討を開始し先進都市への視察調査などを行った。

今後は、先進都市の事例を参考に、各区役所と手続きに係る各局で早急に具体的な方法を整理し、おもてなしコンシェルジュと連携した、市民の皆さんに寄り添ったサービスが提供できるよう取り組んでいく。

お知らせ

会派結成

2月14日付で「創生静岡」が結成されました。構成員は、志政会に所属していた白鳥実議員、風間重樹議員、石井孝治議員及び「山と町」安全の会に所属していた安竹信男議員です。

3月4日付で「会派世界」が結成されました。構成員は、自民党に所属していたさいとう佳代議員です。

議員辞職

3月29日付で、鈴木節子議員(共産党)及びさいとう佳代議員(会派世界)は静岡県議会議員選挙に立候補したため、静岡市議会議員を失職しました。

市立小中学校における正規教職員の増員

質問者 鈴木 節子 (共産党)

教職員の多忙解消には正規教職員の増員が必要と考えるが、正規教職員数は近年どう推移しているか。また、多忙解消に対しどのような問題意識を持っているか。

答弁 28年度は総教職員数2,967人に対し正規教職員数2,770人、29年度は2,956人に対し2,737人、30年度は2,964人に対し2,728人である。

本市では教職員の欠員が生じにくい環境となるよう、新規採用者の増員や再任用者の活用などに取り組んでいる。また、加配教員の数を文部科学省に要求し、29年度は9人、30年度は5人の増員を認められるなど、教職員全体数の増加も図られている。加えて、教職員定数のさらなる拡充などを国に求めており、引き続き、教職員の働きやすい環境を整備していきたいと考えている。

語句説明

おもてなしコンシェルジュ

市役所静岡庁舎の来庁者に積極的に声掛けをし、窓口への案内や付き添いを行う職員。

30年度は実証実験として、8月から1月までの間、月曜日及び金曜日の午前10時から正午に職員を配置した。

会派名

- 自民党＝自由民主党静岡市議会議員団
- 志政会＝志政会
- 公明党＝公明党静岡市議会
- 共産党＝日本共産党静岡市議会議員団
- 創生静岡＝創生静岡
- 緑の党＝緑の党グリーンズジャパン